

## <子育てひろば『ここすき!』で、大きく成長した子どもたち>

10月から始まった子育てひろば『ここすき!』が、3月15日をもって、終了しました。つぼみ組、わかば組と名付けた2クラスで、それぞれ11組、10組の親子が、約5か月間週2回一緒に遊び、過ごしてきました。希望者が多かったため、前後の2クラスに分けて実施することになり、時間的に不都合もあったかと思いますが、お母さん方は、週2回、頑張ってきてくれました。

### ひとりでできたね!

初めのうちは、「どんなことをするんだろう?」と、親子共に緊張しながら登所してくる様子が見られましたが、5か月が過ぎ、ひろばの人や場所にすっかり慣れ、笑顔で手を振りながら入ってくるようになりました。

『ここすき!』では、「子どもたちに、大人との愛着関係が結ばれ、自己肯定感が育ち、協調性や社会性が身につくような働きかけをしていきたいと思います」と、初めに、お母さんたちに伝えました。自分でできることは自分でやらせ、できた時にはうんとほめてあげるよう話したところ、お母さんたちはさっそく実行してくれました。子どもたちは、とても自信をつけ、笑顔がたくさん見られるようになりました。

朝は、自分の連絡ノートを大事そうに抱えてきては、その日のシールを貼り、自分の名札を選びます。靴下を脱ぎ、自分のロッカーにサッとしまいに行く姿は、皆、余裕たっぷりです。元気に、「おはよう!」と言って入室してきたり、後から来る友だちをうれしそうに出迎える子もいます。家庭で、親子だけで過ごしていた子にとっては、友だちという存在ができ、とても大きな刺激になっています。

### 楽しい活動いろいろ

楽しい時間を過ごせるようにと、様々な遊びや活動に取り組んできました。身体を動かす遊びでは、動物体操や、ダンスの『せんたく』を踊ったり、絵本『だるまさん』シリーズもお話に合わせて実際に動くのが皆大好きでした。一本橋や斜面を歩いたり、クライミングやすべり台、音楽に合わせて歩いたり、走ったり、止まったり…と、リトミックも楽しみました。手先を使う遊びとしては、シール貼りや、新聞紙ちぎり、絵の具、小麦粉粘土、ポシエットにひもをとおしたり、花飾り作り…など、いろいろなことをやってきました。

子どもたちは、それぞれ個性が違うので、手先が器用な子、体を動かすのが好きな子…と、様々です。それぞれに、自分の好きなことがみつかるようにと、いろいろな活動を取り入れてきましたが、子どもたちは、どの活動も、1つひとつ楽しんでいました。特に、動物体操やダンスなど、簡単な体操は、毎回必ず取り入れるようにしました。また、絵本『だるまさん』シリーズは、絵本を見ながら、「どてっ」や、「びろーん」など、同じように動作を楽しむことができました。最後には、絵本を見なくても、イメージを共有して遊べるようになり、楽しい遊びの一つとなりました。

### 自由に遊ぼう!

こちらの設定した遊びだけでなく、自由に好きなおもちゃで遊ぶ時間もあり、それも子どもにとっては、貴重な時間でした。「ここすき!に行ったら、あのおもちゃで遊べる!」というのが楽しみになり、『ここすき!』に行く期待にもつながっていたようです。初めは、一人ずつの遊びだったのが、周りの友だちの遊び方を見ながら真似をしたり、友だちの使っているおもちゃが欲しくなって取りっこになったりしました。家庭で、一人で遊んでいたのでは起こりえないことで、互いに良い刺激になったのではないかと思います。例えば、電車遊び一つとっても、

線路をつなげる子、新幹線や汽車を思い思いにつなげる子、ブロックでトンネルを作って線路に置く子と様々で、一人で遊ぶよりも、電車遊びがより楽しいものになっていきました。

一つのおもちゃを、同じように使いたいと思う相手の気持ちに気づき、それを使うには「かして」とか、「ちょうだい」と言わないと使えないこと、また、友だちからおもちゃを「かして」と言われた時には、「だめ」や、「いいよ」と、意思表示をすることを覚えました。時には、「どうぞ」と、貸してあげる姿も見られました。また、ひと遊びした後は、「絵本を読むから、おもちゃを片づけて集まるよ」と声がかかると、次のことに期待をして、おもちゃを片づけるようになりました。「(電車の線路は) そーっとね」と静かにしまったり、友だちと一緒に、「よいしょ、よいしょ」と、おもちゃのかごを運んだりするのも、とてもはりきるようになりました。

### お母さんたちも情報交換

子どもたちが自由に遊んでいる間は、お母さんたちに集まってもらい、その日の活動内容のねらいを伝えたり、誰かが困っていることや悩んでいることがあったら出してもらい、みんなで話し合ったり、また、自由に情報交換をする場として活用してもらいました。「たとえ10分でも、安心して、母親同士で話せる時間が持てるのは、とてもありがたかった」との声もありました。お母さんたちが育児をしていくうえで、貴重なリフレッシュの場にもなっていたようです。

今回は、マイクロバスを利用する機会があり、城山まで、遠足に出かけることができました。期待が持てるようにポシット作りをし、それを持って出かけ、城山の小径を歩きながら、どんぐりや木の枝などを拾いました。友だちと一緒にバスに乗り、輪になって、おやつを食べたりした経験が、とても楽しい共通のイメージとなって、その後の遊びの中で、バスごっこや遠足ごっこにと広がりました。5か月の間に、たくさんの楽しい経験をしてきました。

### いろんな気づきがありました！

毎週2回通うということは、かなり大変だったと思いますが、通い続け、お母さん方はこちら側の意図や大切にしたいことをしっかり受け止め、ひろばの場や、家庭で実行してくれました。お母さんたちの意識の変化が、子どもたちを大きく成長させたと思います。

お母さんたちからは、「1歳児の子どもたちは、まだまだできないと思っていたけれど、こんなにできるんだと気づきました」「いろんなことを自分でできるようになる喜びにあふれた我が子を見ることができたのは、幸せな時間でした」「何でも先回りしてやってあげるのではなく、子どもを見守ることの大切さを学びました」「自分の子の良いところがみつけられて、安心しました」「ここすき！に通いだして、(小さいけれど)この子が主体の社会ができて、自信をつけたと思います」等々の感想をもらいました。また、「もっと外遊びの活動も取り入れてみては？」など、貴重な意見もたくさんいただきました。今回、寄せていただいた意見を参考にし、参加者との意見交換も十分にしながら、次回の『ここすき！』も、さらに充実させていきたいと考えています。



絵本もみんな大好き！「しゅっぱーつ、しんこう！！」



自分たちで製作したポシットをさげて、どんぐり拾ったり、遠足ごっこ♡